

中間評価結果を踏まえた今後の取組みについて

1 環境情報を広くわかりやすく伝える仕組み・仕掛けづくり

（1）大学コンソーシアムせと協働プログラムにより実施を予定（申請中）

名称 「～瀬戸の豊かな自然と市民をつなぐ～

環境情報の集約・発信の仕組み・仕掛けづくり」

期間 H28～H30年度 3か年

内容 ・環境保全団体（市民活動センター登録24団体等）調査

・東海自然歩道エコルート調査・歩きマップ等作成

・環境情報発信ツールの作成

2 環境教育の協働による広範囲な体制づくりによる推進方法の見直し

（1）「せと環境塾」対象講座の枠組み拡大

・市主催に限定しない講座運営への変更

・年間実施講座の一覧化による広報（4/1号掲載予定 別紙）

・認証ルールの作成

・参加者を小学生以上とする規定の廃止（すべての世代を対象）

（2）「せと環境塾運営委員会」の組織見直し

・構成団体の追加（フィールド冒険隊、パートナーシップ事業者会議等）

（3）EXPエコマナーの取扱い終了

・博覧会継承事業及び環境保全活動推進として約10年間運用

・講座参加者へ発行

→環境活動への意識向上等により参加者からの発行希望なし

3 その他

（1）年次報告書の報告時期及び内容の見直し

・基本方針とリーディングプロジェクトのとりまとめ時点を前年度末に統一して報告

・環境指標・達成目標の数値集計方法の見直し